

平成 27 年 4 月 13 日

特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会
プレスリリース

特定非営利活動法人 物理オリンピック日本委員会
理事長 北原 和夫

第46回国際物理オリンピック (IPhO2015) インド大会 日本代表選手決定について

特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会は、第 46 回国際物理オリンピック (期間 : 2015 年 7 月 4 日~13 日 開催国/都市 : インド・ムンバイ) に派遣する日本代表選手 5 名を決定した。

国際物理オリンピックは、1967 年にポーランドのワルシャワで第 1 回大会が開催された物理の国際的なコンテストで、全世界 80 前後の国・地域から高等教育機関就学前の若者が参加し、物理学に対する興味関心と能力を高め合うとともに、国際的な交流を通じて参加国における物理教育が一層発展することを目的として、毎年開催されている。

わが国は 2006 年、第 37 回国際物理オリンピック IPhO2006 シンガポール大会に初めて日本代表選手 5 名を派遣し、以来毎年参加し、メダルを獲得している。2014 年の第 45 回国際物理オリンピック IPhO2014 カザフスタン大会での成績は、銀メダル 4、銅メダル 1 であった。

今回日本代表となった 5 名の選考過程は以下の通りである。昨年夏に岡山県で行なわれた第 10 回全国物理コンテスト・物理チャレンジ 2014 (応募者 1762 名) において優秀な成績を収めたことにより日本代表候補者として選抜された 11 名に対して、9 月に開催された「秋合宿」において、国際物理オリンピックに向けた最終の訓練のガイダンスと実践的基礎学習を行ったのち、インターネットを利用した「理論問題・実験データ解析演習の通信添削」、冬休みには「実験実習を主体とした合宿研修」、さらにこの 3 月末の春休みには「最終選考合宿」を行って、最終的に日本代表 5 名が決定された。

代表者 5 名は、引き続き国際大会参加に向けたトレーニングに参加し、今年 7 月開催の第 46 回国際物理オリンピック (IPhO2015) インド大会」に備えている。日本代表選手役員団の結団式・壮行会は 7 月 3 日 (金) 午後、東京理科大学 (神楽坂) で行われ、翌日インドに向けて出発する予定である。

なお、2016 年に開催される第 47 回国際物理オリンピックの日本代表選考を兼ねる国内コンテストとして、本年 8 月 19 日~22 日、第 11 回全国物理コンテスト・物理チャレンジ 2015 が茨城県で開催される。詳しくは、ホームページ参照。

第 46 回国際物理オリンピック (IPhO2015) 日本代表選手

氏名	フリガナ	性別	学校名 (所在地)	学年
上田 朔	ウエダ ハジメ	男	灘高等学校 (兵庫県)	1年生
加集 秀春	カシュウ ヒデハル	男	灘高等学校 (兵庫県)	3年生
高橋 拓豊	タカハシ ヒロト	男	東京都立小石川中等教育学校 (東京都)	6年生
吉田 智治	ヨシダ サトシ	男	大阪星光学院高等学校 (大阪府)	2年生
渡邊 明大	ワタナベ アキヒロ	男	東大寺学園高等学校 (奈良県)	1年生

※ 氏名 50 音順

<問い合わせ先> 特定非営利活動法人 物理オリンピック日本委員会 事務局 菊池 祥子
東京都新宿区神楽坂 1-3 東京理科大学内

TEL 03-5228-7406 FAX 03-3268-2345 info@jpho.jp http://www.jpho.jp

「国際物理オリンピック」について

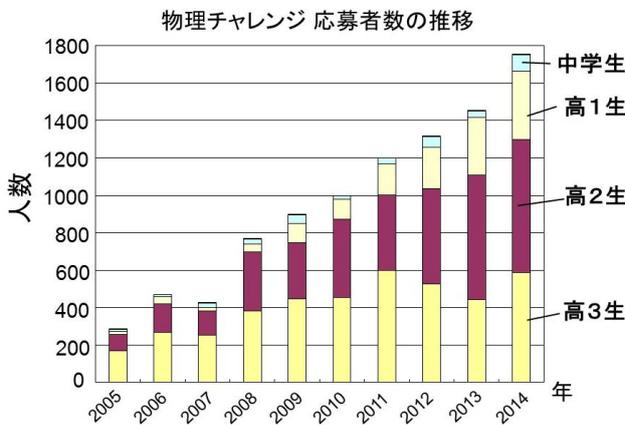
国際物理オリンピックの参加資格は、20歳未満で大学・短期大学などの高等教育を受けていない生徒たちです。各国内で選抜された最大5名の代表選手たちが、大学・高校教員からなる大会日本役員（リーダー、オブザーバ）とともに参加します。約10日間という長い会期のあいだ、選手は理論問題と実験問題にそれぞれ5時間をかけて挑戦するほか、他国からの参加者や主催者と国際的な交流を深めることができるように構成されています。役員たちは問題の翻訳や採点交渉などを行います。

近年の開催国／都市は、2006年シンガポール、2007年イラン／イスファハン、2008年ベトナム／ハノイ、2009年メキシコ／メリダ、2010年クロアチア／ザグレブ、2011年タイ／バンコク、2012年エストニア／タリン、2013年デンマーク／コペンハーゲン、2014年カザフスタン／アスタナでした。また、2022年には日本で開催されることになっています。

我が国は2006年の初参加より毎代表を派遣し、メダルを獲得しています。昨年まで9回の参加において、金メダル受賞者10名、銀メダル受賞者17名、銅メダル受賞者14名、入賞者4名という成績を収めています。

特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会について

特定非営利活動法人 物理オリンピック日本委員会（JPhO）は、全国物理コンテスト「物理チャレンジ」を開催し、そこから国際物理オリンピックに派遣する日本代表選手を選抜し、さらに選手を訓練して国際大会に派遣することを主たる事業としています。この事業は、物理関連学会や、全国の大学、地方公共団体、研究所等の支援とともに、科学技術振興機構を通じて国の支援を得て継続しております。本法人は、我が国の高校生・中学生の間に広く物理に対する興味・関心を喚起するために、全国各地で高校生・中学生、それに中学校および高校の先生方を対象としたプレチャレンジ等の普及啓発活動も広く行っています。



物理チャレンジ（国内選抜大会）応募者数



国際物理オリンピック (IPhO) 参加国数

国際物理オリンピックでの日本選手団の成績

第45回 カザフスタン大会(2014年)	銀	銀	銀	銀	銅
第44回 デンマーク大会(2013年)	銀	銀	銅	銅	銅
第43回 エストニア大会(2012年)	金	金	銀	銀	銀
第42回 タイ大会(2011年)	金	金	金	銀	銀
第41回 クロアチア大会(2010年)	銀	銅	銅	銅	入賞
第40回 メキシコ大会(2009年)	金	金	銀	銅	銅
第39回 ベトナム大会(2008年)	金	銀	銅	入賞	入賞
第38回 イラン大会(2007年)	金	金	銀	銀	銅
第37回 シンガポール大会(2006年)	銀	銅	銅	銅	入賞

IPhO での日本代表選手の成績